

■沿

革 平成5年6月 弓道同好会として発足。部員7名(男1女6)

平成6年4月 新入生8名入部(男5女3)

6月 県高体連加盟。公式戦初出場(県総体女子団体)

8月 部員の手作りによる練習場が実習室脇に完成。(青空弓道場)

10月 男子団体初出場・女子団体5位初入賞。初の中国大会へ。

11月 県大会初優勝(女子団体)。初の全国大会へ。
練習場に投光器設置。

平成7年3月 中国新人大会初出場(松江)(女子団体)
全国選抜大会(明治神宮)初出場(女子団体)
練習場に防風ネット設置。

4月 新入生10名入部(男3女7)。3学年揃う。

6月 部に昇格。初の生徒会予算つく。
県総体初優勝(女子団体)。初のインターハイへ。
春の中国大会(玉野)初出場(女子団体)初優勝(県勢34年ぶり)

8月 インターハイ(山口)初出場(女子団体・個人)
国体中国ブロック大会(玉野)初出場(少年女子の部)

平成8年3月 第1期生6名卒業。

4月 新入生17名入部(男6女11)。部員数30名を越す。

6月 県総体初のアベック優勝。インターハイへ。

8月 インターハイ(山梨県甲府市)アベック出場。男子ベスト16

9月 部室(6号館西階段下倉庫)が与えられる。

11月 岡山城築城400年記念イベントに出演(模範演武)
県選手権女子団体優勝(2度目)。全国選抜大会へ。

平成9年3月 第2期生6名卒業。
全国選抜大会出場(大阪)(女子団体)

4月 新入生11名入部(男7女4)

6月 県総体女子団体3連覇。インターハイへ。
中国大会(米子)準優勝(女子団体)

8月 インターハイ(京都)出場(女子団体個人・男子個人)

10月 創立80周年記念式典において祝射披露

11月 県選手権アベック優勝。全国選抜大会へ。

平成10年3月 第3期生9名卒業。
全国選抜大会(岐阜)アベック出場。男子初のベスト8。

4月 新入生20名入部(男10女10)。部員数40名になる。

6月 県総体アベック優勝。(女子4連覇)インターハイへ。
中国大会(大田)男子団体初優勝。
ボランティア・バンク活動に部として初参加。

8月 インターハイ(愛媛県松山市)アベック出場。男子ベスト16。
国体中国ブロック大会(山口)少年男子2位。初の本大会へ。

10月 神奈川県国体(厚木)少年男子初出場。近的8位。
3年生8名昇段審査で二段合格。

11月 県選手権アベック優勝(女子3連覇男子2連覇)。全国選抜へ。
中国新人大会(玉野)女子初優勝。

平成11年2月 あずち積み直し。更衣室設置(保護者会の寄付による)

3月 第4期生11名卒業
全国選抜大会(広島)アベック出場。女子団体初の3位入賞。

4月 新入生17名入部(男6女11)
県大会男女団体個人完全制覇(初)。男子団体初の20射皆中

6月 県総体女子5連覇。インターハイへ。
中国大会(徳山)男子2連覇。

8月 インターハイ(岩手県盛岡市)出場(女子団体個人・男子個人)
国体中国ブロック大会(大田)少年男子(1名)出場。総合2位。
本大会へ。

10月 熊本国体(植木)少年男子出場。近的4位。総合7位。

11月 県選手権女子団体優勝(女子4連覇5度目)。全国選抜大会へ。

平成12年1月 ボランティア活動(中学生対象弓道講座)。藤田中より5名参加

3月 第5期生10名卒業。
全国選抜大会(金沢)出場(女子団体個人・男子個人)
女子団体全国制覇なる。(県勢初)

4月 新入生21名入部(男14女7)。部員数50名になる。

6月 県総体男子2年ぶり3度目優勝。インターハイへ。

8月 インターハイ(岐阜県可児市)出場(男子団体)
国体中国ブロック大会(米子)少年男子(1名出場)2位。本大会へ。

10月 富山国体(大島)少年男子出場。

11月 中国新人大会(大田)男子団体予選で12射皆中(初)。

平成13年3月 第6期生16名卒業

4月 あずち積み直し。1年生用第2射場造成。
新入生12名入部(男3女9)。部員数46名。
県大会2年ぶり男女アベック優勝。

8月 インターハイ(熊本)出場(男子個人)

11月 県選手権男子団体優勝(3度目)。全国選抜大会へ。

平成14年3月 第7期生12名卒業
全国選抜大会(東京)ベスト16(男子団体)

4月 新入生18名入部(男9女9)。部員数35名。

6月 県総体女子3年ぶり6度目優勝。インターハイへ。

8月 インターハイ(水戸)出場(女子団体・男子個人)
男子個人初の決勝進出

11月 文化祭にて祝射披露。

平成15年3月 第8期生11名卒業
全国選抜大会(伊勢)出場(女子個人)
創部10周年祝賀会開催

4月 新入生23名入部(男10女13)。部員数43名。

6月 県総体女子2年連続7度目優勝。インターハイへ。

8月 インターハイ(長崎)出場(女子団体・個人)
女子団体7位 初のインターハイ入賞

11月 県選手権男子団体優勝(4度目)。全国選抜大会へ。
中国新人大会(玉野)男子個人優勝。

平成16年3月 第9期生6名卒業
全国選抜大会(東京)ベスト16(男子団体)

4月 新入生15名入部(男9女6)。部員数40名。

6月 県総体女子3年連続8度目優勝。インターハイへ。

8月 インターハイ(米子)出場(女子団体)。ベスト16。
国体中国ブロック大会(米子)少年男子優勝。本大会へ。

10月 埼玉県国体(日高)少年男子出場。近的7位。

11月 県選手権男子団体優勝(5度目)。全国選抜大会へ。

平成17年2月 あずち直し

3月 第10期生12名卒業
全国選抜大会(東京)出場(男子団体)

4月 新入生18名入部(男14女4)。部員数38名。

6月 県総体アベック優勝。インターハイへ。
(7年ぶり3度目、女子4年連続9度目、男子5年ぶり4度目)

8月 インターハイ(千葉)団体アベック出場。男子団体6位初入賞

10月 晴れの国おかやま国体(玉野)少年男子(1名)女子(3名)出場。
男子遠的6位・近的5位。女子遠的7位・近的2位
成年男女と合わせて競技別天皇杯獲得(初)

11月 中国新人大会(米子)女子団体優勝(7年ぶり2度目)

平成18年3月 第11期生9名卒業

4月 新入生12名入部(男7女5)。部員数36名。

	6月	県総体2年連続アベック優勝。インターハイへ。 (4度目、女子5年連続10度目、男子2年連続5度目)	10月	県選手権女子団体優勝(12年ぶり6度目)全国選抜大会(岐阜)へ。	
	8月	インターハイ(大阪)2年連続団体アベック出場。 男子団体7位入賞	11月	県選手権遠的大会で個人戦の部が新設。男子個人優勝。 中国新人大会(周南)女子団体6位。	
	11月	県選手権男子団体優勝(6度目)。全国選抜大会へ。 中国新人大会(周南)女子団体優勝(2年連続3度目)	平成24年2月	新道場あずち部分の全面積み上げ工事、屋根取り付け工事完了。 正規練習での使用が可能になる。	
平成19年3月		第12期生10名卒業 全国選抜大会(茨城)出場(男子団体)ベスト8	3月	第17期生11名卒業 全国選抜大会(岐阜)出場(女子団体)ベスト16。	
	4月	新入生14名入部(男10女4)。部員数34名。	4月	新入生25名入部(男10女15)。部員数54名(過去最高数を更新)	
	6月	県総体3年連続アベック優勝。インターハイへ。 (5度目、女子6年連続11度目、男子3年連続6度目)	6月	県総体男子団体5年ぶり6度目優勝。インターハイ(松本)へ。	
	8月	インターハイ(佐賀)3年連続団体アベック出場。 男子個人全国制覇なる。(県勢初) 国体中国ブロック大会(呉)少年男子(1名)出場2位。本大会へ。	8月	インターハイ(松本)出場(男子団体)ベスト16。 (男子個人)決勝進出。 県知事杯で男女団体1・2位、男女個人1位を独占。 国体中国ブロック大会(呉)少年女子(1名)出場2位。本大会へ。 新道場に投光器・蛍光灯等取付け完了。日没後も練習が可能に。	
	10月	秋田国体(由利本荘)少年男子(1名)出場。遠的5位。 創立90周年記念式典において祝射披露	10月	岐阜国体(恵那)少年女子(1名)出場。遠的7位。	
平成20年3月		第13期生9名卒業 全国選抜大会(東京)出場(女子個人)	11月	県選手権男子団体優勝(10度目)。全国選抜大会(相模原)へ。	
	4月	新入生15名入部(男9女6)。部員数32名。 県大会初の遠的の部。女子団体優勝。	12月	全国選抜大会(相模原)出場(男子団体・個人)予選敗退。	
	8月	インターハイ(埼玉)出場(男子個人)	平成25年2月	新道場壁面に姿見鏡(あずち会寄贈)が取付け完了。	
	11月	県選手権男子団体優勝(7度目)。全国選抜大会へ。	3月	第18期生9名卒業	
平成21年2月		あずち積み直し	4月	新入生8名入部(男5女3)。部員数42名。	
	3月	第14期生9名卒業 全国選抜大会(静岡)出場(男子団体・男女個人) 男子団体全国制覇なる。(県勢初)	5月	新道場の水道工事・矢取り道工事が完全完了。 更衣室を青空道場から新道場脇に移転・配電工事完了。 故障していたビデオカメラを最新型に更新。(あずち会寄贈)	
	4月	新入生13名入部(男10女3)。部員数31名。	6月	県総体男子個人優勝。インターハイ(北九州)へ。 中国大会初の体育館特設弓道場開催(出雲)男女団体4位。	
	6月	県総体女子団体2年ぶり12度目優勝。インターハイへ。 中国大会(周南)男子個人優勝	7月	インターハイ(松本)出場(男子個人)決勝進出(15位相当)	
	7月	新道場建設工事着工	11月	県選手権男子個人準優勝 全国選抜大会(大阪)へ。	
	8月	インターハイ(奈良)出場(女子団体)	12月	全国選抜大会(大阪)出場(男子個人)予選敗退。	
	9月	トキめき新潟国体少年男子(2名)遠的優勝(県勢初) 近的部8位	平成26年1月	新道場の壁面(西側)が取付け完了。風雨対策が進む。	
	11月	県選手権女子個人2位。前年優勝の男子団体と全国選抜大会へ。 新道場落成式挙(天井部のみの完成)	3月	第19期生14名卒業	
平成22年3月		第15期生8名卒業 全国選抜大会(大阪)出場(男子団体・女子個人)	4月	新入生8名入部(男8女6)。部員数39名。	
	4月	創部者の仲西寿夫先生が岡山工へ転勤。主顧問が代わる。 新入生17名入部(男13女4)。部員数38名。	6月	県総体女子個人優勝、準優勝。インターハイ(東京)へ。	
	6月	県総体女子団体2年連続13度目優勝。インターハイ(沖縄)へ。	8月	インターハイ(東京)出場(女子個人2名)予選敗退。 国体成年女子の選手に本校出身者が初選出される。長崎国体へ。 (近的5位)	
	7月	インターハイ(沖縄)出場(女子団体)ベスト32。	11月	県選手権男子個人優勝全国選抜大会(鹿児島)へ。	
	11月	県選手権男子団体優勝(9度目)。全国選抜大会(鹿児島)へ。 初開催の県選手権遠的大会で男子団体優勝。 中国新人大会(大田)男子団体2位、男子個人2位。	12月	新道場の壁面(北側)が取付け完了。巻藁・弓立等の常設化が実現。 全国選抜大会(鹿児島)男子個人出場。準決勝敗退。 新型の部活ジャージを作成。	
平成23年1月		西日本選手権 男子個人優勝(県勢初)。男子団体3位	平成27年1月	2月	防矢ネット(3方囲)の設置工事が完了。正式な安全対策が実現。
	3月	第16期生10名卒業 全国選抜大会(鹿児島)大会中止。(東日本大震災の影響を考慮した措置)男子団体出場が幻となる。 県春季錬成大会(若草リーグ)初開催。男女アベックI部優勝。	3月	第20期生14名卒業。	
	4月	新入生16名入部(男9女7)。部員数41名。 新道場一部使用開始。(実験施工のあずちで1年生基礎練習)	4月	新入生21名入部(男12女7)。部員数38名。	
	6月	県総体女子団体3年連続14度目優勝。インターハイ(盛岡)へ。	6月	県総体でインターハイ出場権獲得ならず。H7年からH26年まで 続いていた連続出場(20年間)の灯が消える。	
	8月	インターハイ(盛岡)出場(女子団体)ベスト32。 (女子個人)決勝進出。(近寄9位相当)	7月	新型の部活Tシャツを作成。 新道場東側周辺の松を掘取って移植し、そこに遠的場作成。	
			11月	新道場の壁面(東側)が取付け完了。3方が壁に囲まれた道場が完成。	
			12月	全国選抜大会(宇都宮)男子団体・女子個人2名出場。 男子団体ベスト16・女子個人準決勝敗退1名・予選敗退1名。	
			平成28年1月	西日本選手権 男子個人優勝(平成23年以来2人目)	
			3月	第21期生7名卒業。	
			4月	新入生17名入部(男8名女9名)部員数43名	
			12月	全国選抜大会(名古屋)女子個人出場。予選敗退。 新道場射場側床面工事完了。	

平成29年 3月 第22期生12名卒業。

4月 新入生21名入部(男7女6)。部員数41名。

6月 県総体男子個人優勝。インターハイ(仙台)へ。

8月 インターハイ(仙台)出場(男子個人)予選敗退。

平成30年 3月 第23期生14名卒業。

新道場控え側床面工事完了(床面工事完全完了)。

入口土間施工完了。巻藁用姿見鏡の壁面取り付け工事完了。

木製巻藁台製作及び設置(3台)。青空弓道場あずち積み直し。